

あぐりめ～る新川

第90号(令和3年3月発行)
富山県新川農林振興センター
〒938-0801 黒部市荻生 3200
(TEL) 担い手支援課 (0765) 52-0268
(0765) 52-5192
農業普及課 (0765) 52-0094
(0765) 52-0945
(FAX) (0765) 52-3115

新川 農業の未来を担う人 ～第35回～

まつしま まさき
松島 正紀 氏 (入善町福島)

～ 営農組合を支える若き従業員 ～

松島正紀さん(43)は、高校卒業と同時に入善町の農業法人に就農し、9年間農業に関する技術を磨いた後、平成16年に地元集落の農事組合法人せせらぎ営農組合の法人化にあわせて従業員となりました。

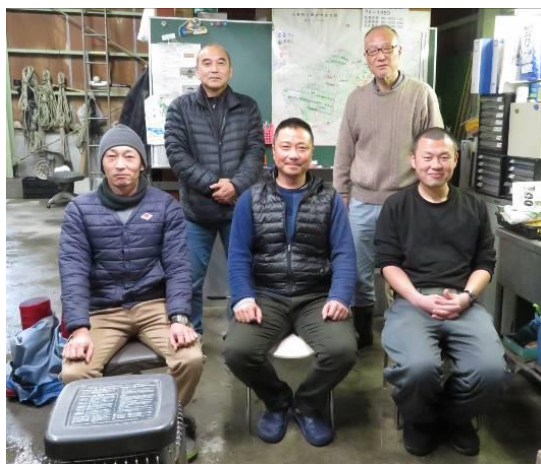
(農) せせらぎ営農組合は、現在、水稻、大豆と種子を合わせて約110haを作付し、特に水稻栽培では直播栽培や高密度播種栽培などを導入することで低コスト・省力化に取り組んでいます。また、ももの栽培により経営の複合化を行い、SNS等を活用したPRにより、販売と同時に売り切れるほどの人気を博しています。

現在、栽培管理部長として農作業現場の指揮・監督を任せられ、農作業計画の策定時には役員に助言を行い、段取りの指示に携わるなど、組合の営農にとって欠かせない存在となっています。オペレーターとして農作業に従事されているかたわら、人材育成にも熱心に取り組まれており、年下の従業員に作物の栽培方法や大型機械の操作方法を一から教え、オペレーターとして育て上げています。また、組合員にももの着果管理作業を指導しています。



令和2年度元気とやま農林水産奨励賞を受賞されました

～ 「地域密着型農業」をモットーに ～



松島さんは、青年農業者組織APG黒東やJAみな穂青壮年部の役員を歴任し、地域の若手農業者がともに切磋琢磨できる環境を作ってられました。また、地元の消防団や、地元独身者の婚活サポートを行う「入善世話やき隊」に所属しているほか、農地・水・環境保全向上対策に取り組むなど、地域活動にも積極的に参加されています。

松島さんは「農業とは地域の人々の理解と協力があって成り立つもの。特に若い農業者には、地域の農業者、地域の人と交流を深めてもらい、地域全体で農業を活性化させて次世代へつなげてほしい」と語っています。

今後も新川地域をリードしていく若き農業者の一人として、益々の活躍が期待されます。

- 目次 P. 2 令和3年産 稲作の重点ポイント ～穂数型稲への誘導と根づくり～
P. 3 高品質で美味しい「富富富」づくりに向けて
P. 4 市場・企業と連携した新ブランドねぎの紹介 (JA うおづねぎ出荷組合)
P. 5 農場の整理整頓でリスク軽減 ～GAPの観点から再点検～
P. 6～8 気象災害による農業被害と対策について (3～5月)
P. 9 経営改善の第一歩!!～資金運用表～
P. 10 ～栄えある受賞おめでとうございませう～

【あぐりめ～る新川別冊】 農作業安全「リスクカルテ」

令和3年産 稲作の重点ポイント ～穂数型稲への誘導と根づくり～

新川地域における令和2年産うるち玄米1等比率は94.1%(10月末時点)と県目標の90%を上回りました。主な格下げ理由については「部分カメ」であることから、斑点米の発生防止のために、畦畔などの草刈りを徹底しましょう。

「心白粒」による格下げ割合は0.6%と前年に比べ低い値でしたが、近年の温暖化により登熟期間の高温による白未熟粒の発生が懸念されていることから、令和3年産米については土づくりをしっかりと行った上で、5月15日を中心とした田植えを行いましょ。また、適正な水管理により「穂数型稲」へ誘導し、田植後4週間までの中干しの実施等による「根づくり」を行いましょ。

重点ポイント1：「深耕」による作土深の確保

作土層が浅いと稲株の根張りが悪くなり、収量・品質の低下につながります。春耕はトラクタの速度を落として丁寧に行い、作土を15cm以上確保しましょ。

重点ポイント2：「穂数型稲」への誘導

(1) 健苗の育成

老化苗では、第2葉から発生する分げつの発生率が低下します。5月15日中心の田植日に合わせた播種など適正な育苗作業で若くてがっちりとした苗に育てましょ。

(2) 適正な田植えと水管理

初期生育を確保するため、70株/坪植えを徹底するとともに浅植え(植付深さ3cm)を心がけましょ。また、活着後は浅水管理により、分げつの発生を促しましょ。

重点ポイント3：中干しによる「根づくり」

(1) 溝掘り・中干し

「直下根」は田植後4週間頃に伸長します。6月上旬頃に溝掘りを行い、田植後4週間までに中干しを開始しましょ。

(2) 間断かん水～飽水管理

「うわ根」は、6月下旬～7月上旬にかけて盛んに発生します。中干し後は間断かん水で根を伸ばし、幼穂形成期以降は稲体活力を消耗させないよう飽水管理を行いましょ。



重点ポイント4：「斑点米」の発生防止

(1) 雑草地における草刈りの徹底

例年、水田周辺の雑草地にてカメムシ類が多く確認されます。草刈りを徹底し、カメムシ類が発生しにくい環境をつくりましょ。

新川地域でよくみられる斑点米カメムシの種類



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ



アカスジカスミカメ



トゲシラホソカメムシ



クモヘリカメムシ

(2) ケイ酸質資材の施用

ケイ酸は稲の茎葉を強くして病害虫への抵抗性を増強します。また、割粃の発生を防ぎ、斑点米の発生を抑制する効果も期待されます。

高品質で美味しい「富富富」づくりに向けて

1 「富富富」の生産状況

「富富富」は、過去3か年（平成30年～令和2年産）を通して、1等比率はコシヒカリより高く（表1）、また食味に影響を及ぼす玄米蛋白含有率は目標値6.4%以下をクリア（表2）するなど、安定して高品質・良食味な米となっています。

令和3年産における新川管内の作付面積は、昨年より19ha多い401haが見込まれています（表3）。

表1 品種別1等比率の推移（県）

品種	H30	R1	R2 (11/30現在)
富富富	98.8%	90.9%	96.2%
コシヒカリ	88.5%	85.3%	89.1%

表2 玄米蛋白含有率の推移（実証ほ結果）

	H30	R1	R2
新川管内	5.8%	6.0%	5.9%
県内	6.0%	6.3%	5.9%

表3 R3年産「富富富」作付予定面積

	新川管内		富山県	
	経営体数	面積 (ha)	経営体数	面積 (ha)
R3 (予定)	135	401	655	1,400
R2 (実績)	135	382	654	1,282

2 今後の「富富富」生産・販売・PR戦略（案）

新戦略（案）のポイント【対象期間：令和3年～令和5年】

(1) ブランドの確立

- 栽培面積を順次拡大し、将来的に中生品種の大宗を占める品種とする。
- 今後の生産量の増加を踏まえ、買い求めているだけの価格帯（県産コシヒカリと同等以上）を追求する。
- 消費者や実需者には環境に配慮した米であること、生産者には経営的なメリットをアピールする。

(2) 栽培面積の目標

- 5年後に2,000ha（中生品種の1割程度）を目指す。

(3) 高品質・良食味の確保

- 生産者登録制度を維持し、栽培マニュアルの遵守を徹底する。

(4) 集荷・販売体制

- JA独自の集荷・販売や農業法人による直接販売など流通・販売の多様化を図る。
- 消費者や実需者の評価を高めるため、直接販売する生産者にも「流通基準」の遵守の徹底を図る。

(5) 消費拡大に向けた取組み

- 県内での取組みとして、購入・消費行動に結び付けるためのPR、販売促進対策を強化する。
- 県内外共通の取組みとして、情報発信ツールの活用など消費者への直接訴求プロモーションを展開する。
- ブランド力向上や販路開拓を図るため、輸出に向けた取組みを検討する。

市場・企業と連携した新ブランドねぎの紹介（JA うおづねぎ出荷組合）

令和2年、JA うおづでは富山中央青果、農業ベンチャー企業と連携し、白ねぎの新しいブランドを立ち上げました。このように農協や市場、ベンチャー企業（独自のアイデアや技術をもとに新しいサービスやビジネスを展開する企業）が協力してブランド野菜の販売に乗り出すことは、県内でも新しい取組みで、新聞等でも紹介されました。今回は、その新ブランドねぎ「^{なかよ}仲良しろねぎ」を紹介します。

1 「仲良しろねぎ」の特徴

「仲良しろねぎ」は「白と緑、どちらも味わってほしい」のキャッチコピーで、県内の（株）アルビスで販売しています。ビニールの袋に緑と白の長さが半々のねぎが2本入っており、パッケージの表面には「富山県産 仲良しろねぎ」という商品名とJA うおづねぎ出荷組合の生産者の写真が印刷され、パッケージの裏面には、白ねぎの栽培ほ場の写真の他、QRコードが印刷されています。QRコードをスマートフォンなどで読み取るとレシピ等を見ることができます。

キャッチコピーには、料理に利用しない人もいるねぎの緑色の部分も、おいしく食べてほしいという思いが込められています。

2 調製・出荷を楽に

「仲良しろねぎ」は通常の白ねぎと同様に、収穫後の根葉切り、皮むき等を生産者が行いますが、結束せずに箱に入れ、集荷場へ出荷し、袋詰めは市場で行われ、生産者の調製・出荷にかかる負担が軽減されています。また、契約単価で取引され、安定した収益が得られます。

3 ベンチャー企業、中央青果、JAのタイアップ

今回参画したベンチャー企業は、これまでITを活用し、市場を通さずに農産物を流通させる（市場外流通）プラットフォームの運営を行っていましたが、JA うおづと中央青果、ベンチャー企業が連携し、初めて市場を通した流通に取り組み、ブランド化にあたり、ベンチャー企業が「仲良しろねぎ」のパッケージのデザイン等を行いました。

令和2年度の「仲良しろねぎ」は9～12月に約8t出荷され、JA うおづでは今後さらに出荷量を増やす予定です。また、今回のベンチャー企業と中央青果は、ねぎ以外の品目でも新ブランドの立ち上げを検討しており、今後、このような取組みが広がる可能性があります。



写真1 「仲良しろねぎ」



写真2 ほ場巡回の様子

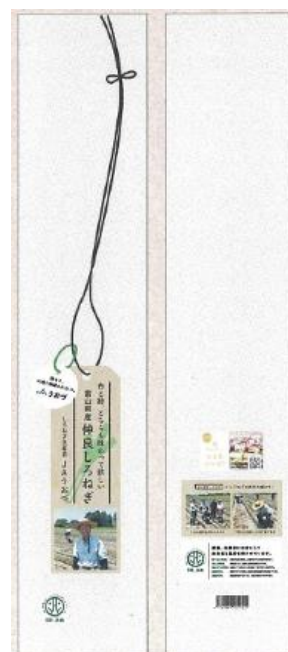


写真3 「仲良しろねぎ」パッケージ

農場の整理整頓でリスク軽減 ～GAPの観点から再点検～

これから始まる農作業の前に、作業場や農場周りを今一度以下のポイントに沿って点検し、整理整頓しましょう。

1 整理整頓の目的

整理整頓がされていることは、作業者が快適なだけでなく作業を効率良く行うために必須です。また、整理整頓がなされることで、どこにどんなリスク（危険）が潜んでいるか見えるようになります。

- | | | |
|--|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 必要な物だけを残し、不要な物を処分する 2 必要な物をすぐに取り出せるようになる 3 何がいくつあるか把握できる | } | <p style="color: red;">スペースが生まれる</p> <p style="color: red;">作業の効率が上がる</p> <p style="color: red;">異常(紛失)がすぐわかる</p> |
|--|---|---|

2 整理整頓の手順

整理整頓を行う際、家族や従業員で、どこに何をどれだけ置くかのルールを話し合い、それを掲示板などで周知しましょう。

- | | | |
|--|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 必要な物をリストアップする 2 どこに、何を、どれだけ置くか決める 3 作業員全員にルールを伝え、習慣にする | } | <p style="color: red;">ルール化</p> <p style="color: red;">見える化</p> |
|--|---|---|



片山安心コンサルタント合同会社
ホームページ <http://ansin39.com/>

図 置き場所のルール例

3 整理整頓のポイント

整理整頓は、「**食品安全**」と「**労働安全**」の観点から行うことがポイントです。

ポイント1 「食品安全」

- ・施設の中で作業者が移動したり、機械を移動させたときに、農産物や包装資材が農薬や微生物に汚染されないようにしましょう。それには、同時に同じ場所で保管しないこと。やむを得ない場合は、清潔区域と汚染区域を分けゾーニングすること、被覆などにより汚染物が漏れるのを防止することなどが有効です。

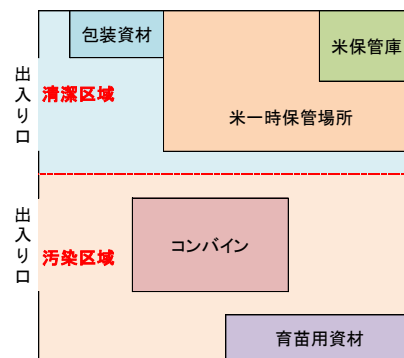


図 ゾーニング例

ポイント2 「労働安全」

- ・施設の中で作業者が移動するときにつまづいたり、転倒したり、頭をぶついたりしないか点検し、動線を確保しましょう。
- ・高いところに置いた物が落ちたり、崩れたりすることがないか、作業者が高所から落下しないよう柵が設けてあるかなどを確認しましょう。

農作業安全「リスクカルテ」で危険作業をチェック！

別冊の農作業安全「リスクカルテ」には、それぞれの作業においてリスク（危険）を回避するためのチェックポイントが記載されています。春作業の前に家族や従業員全員でトラクタ作業や田植えなどのリスクを点検し、農作業事故を無くしましょう。

気象災害による農業被害と対策について（3～5月）

近年、気象が農業生産を脅かす事例が多くなっています。そこで、被害を引き起こす気象のポイントと農業被害の対策について紹介します。

1 気象災害と農業被害

(1) 県内の気象災害による農業被害

富山県の気象災害による農業被害は、強風が約6割を占め(表1)、ハウスの倒壊(写真1)や農作物の倒伏・折損が発生しています。その強風は台風が約4割、台風以外が約6割で、被害の多い月は4月で、次いで9月、10月です(図1)。

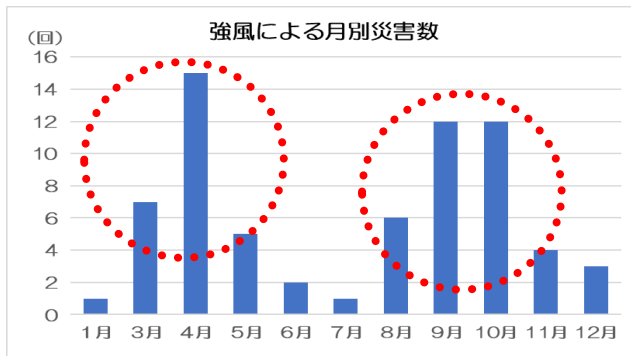


図1 月別災害数(強風)(県農業技術課調べ)

表1 気象災害による農業被害の発生件数

年	強風	大雨	大雪	ひょう等	計
H16	8	0	2	0	10
H17	1	2	1	0	4
H18	3	1	1	0	5
H19	4	1	0	0	5
H20	1	4	0	0	5
H21	5	1	1	1	8
H22	4	2	2	2	10
H23	2	2	1	1	6
H24	7	2	2	1	12
H25	6	3	0	2	11
H26	6	2	1	0	9
H27	5	1	0	0	6
H28	4	1	0	0	5
H29	5	3	0	1	9
H30	6	1	3	0	10
H16～30	67	26	14	8	115
被害発生率	58%	23%	12%	7%	100%

(H16～30: 県農業技術課調べ)

(2) 作物別の主な気象災害

年間を通じて気象情報に注意が必要ですが、3～5月は強風・突風、低温・降雹、高温・少雨が作物の生育に影響し、県内の施設園芸で強風・突風により甚大な被害が発生している事例はこの期間に多くなります(表2)。

表2 作物ごとの留意すべき気象現象

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
水稲	積雪			低温 強風・突風	高温		日照不足・低温 夏台風	高温	秋台風			
大麦	積雪		低温		高温・少雨		梅雨					積雪
大豆				低温		高温・少雨		高温	秋台風			
果樹	積雪・低温			低温	高温・少雨		夏台風	高温	秋台風			積雪・低温
花き	暖冬			低温・降雹		高温・少雨		高温	秋台風・豪雨			
野菜				低温・降雹		高温・少雨		高温	秋台風・豪雨			積雪・低温
施設園芸	積雪			強風・突風			夏台風		秋台風			積雪

2 3～5月の県内の気象現象と農業被害対策

(1) 3～5月に県内で発生する気象現象

ア 強風・突風

2～3月の春一番や4～5月の突風(あいの風など)は低気圧の発達に伴い発生します。シベリア高気圧が弱まると『温帯低気圧』が日本海で発達し、太平洋側の『高気圧』から日

本海の低気圧に向かって南から暖かい風が強く吹き込み、落雷や竜巻などを伴い、トラックが横転する事もあります。地形的な影響で富山県は他の地域に比べると南よりの強い風が吹きやすくなります。

春一番は立春(2/4頃)から春分(3/21頃)までの間に、その年初めて8m/秒以上の南よりの風が吹き、前日に比べて気温が上がる現象です。その次の日は強い冬型の気圧配置に戻り寒さが戻ることが多く寒暖の差が激しい傾向があります。

あいの風は、好天日に温まり易い陸地の気温が早く上昇し、温まりにくい海面の気温が遅く上昇することで比熱差が温度差を生み出し地表を吹く海風となり、4～5月に移動性高気圧に覆われたときによく発達し強風となります。



写真1 強風で倒壊したハウス

イ 低温(降霜)・降雹(霰)

低温(降霜)・降雹(霰)は、4～5月ごろに、シベリア高気圧の寒気が富山県上空に長く留まることによって発生します。特に早霜・晩霜期に最低気温3℃以下で霜注意報が発表されます。その時、夜明け直前に天空に雲のない状態で発生する放射冷却現象は降霜を助長します。また、霜害や凍害は植物内の水が凍結・解氷して細胞が壊れる現象です。

ウ 高温・少雨

日本上空の北を流れる寒帯前線ジェット気流と南を流れる亜熱帯ジェット気流が、3～4月は気流間の幅が狭まり低気圧や前線を太平洋に押しやることで移動性高気圧に覆われ、5月以降は気流間の幅が広がり移動性高気圧が複数の発生し、晴れが続き地温が上昇することで長期間の高温・少雨となります。

(2) 気象災害ごとの農業被害対策

農業被害を軽減するため、以下の対策を実施しましょう。

ア 強風・突風の対策

水稻(育苗期)

- ・苗を搬入したハウスで被覆物が破損した時は、苗の上に直接、被覆資材(寒冷紗、ラブシート等)をかけて保温します。
- ・ハウスの破損で播種作業の計画を見直す場合、浸種中は速やかに浸種を中止し、催芽後は種籾の水分を確実に切り、5～10℃で保管するなどの対策をします。

露地野菜・チューリップ球根

- ・茎葉損傷等による病害が発生しやすいので、晴れ間を逃さないよう、確実に殺菌剤を散布し、事後も防除暦に従い防除を行います。

農業施設

- ・破損したパイプハウスは、破損箇所の補修し、今後の強風による被害を未然に防ぐため、防風ネットや支柱等の補強に努めます。

イ 低温(降霜)・降雹(霰)の対策

水稻(育苗期)

- ・浸種時は水温10～15℃を確保します。
- ・ハウスへの苗の搬出直後は灌水を控えるか、覆土が落ち着く程度の灌水とし、寒冷紗等で被覆を行い保温に努めます。
- ・夕方、早めにハウスを密閉して保温し、夜間にストーブを入れるなど、温度が5℃を下回らないようにします。
- ・低温に遭遇した場合は、苗立枯病やムレ苗の発生が懸念されるので、速やかにタチガレエースM液剤500倍液を箱当たり500mL土壤灌注します。

野菜・花き

- ・施設栽培では、夕方早めに密閉し、ハウス栽培は2重被覆やストープを入れるなど、トンネル栽培は寒冷紗等を被覆するなど、適宜、保温します。
- ・露地では、早期のは種・定植を避けます。定植後は不織布等のべたがけや穴あきビニールのトンネル被覆で保温します。
- ・低温の被害発生時には、欠株の補植や肥培管理で草勢の回復を図り、低温性の病害虫（べと病、タネバエ等）に注意します。
- ・降雹等の被害発生時には、欠株の補植や追肥等を行い生育の回復に努めます。また、折損した茎葉の除去と適切な薬剤散布を行い、病害の発生を防止します。



写真2 降雹による打撃痕

果樹

- ・被害予防と軽減のため、園全体に多目的防災網を設置します。
- ・草生栽培園は気温の低下を軽減するため草を短く刈ります。
- ・もも栽培では、低温による結実不良を防ぐため一発強摘蕾を控えます。
- ・人工授粉は、発芽率の高い花粉を用いて、開花状況を確認しながら適期に実施します。
- ・降雹・降雹被害が甚大な場合は、新梢の過繁茂を防ぐため摘果時に被害果を残します。

農業施設

- ・幼苗期は被覆資材の利用し、地温の上昇に努め適切な生育管理をします。育苗中は外気温が低いと施設内が多湿環境になり病害が発生しやすいため、低温に注意して換気を行います。

ウ 高温・少雨の対策

- ・降雨が少ない日が続くと害虫の発生が多くなるので発生状況を確認し防除します。

水稻(定植後)

- ・ヒエの葉齢展開が早くなるので、除草剤の散布は適期を逃さないように注意します。
- ・ワキや藻類等の発生した場合は、軽い田干しや水を入れ換えます。

大麦

- ・収穫時期が前倒しになるので、早めに機械・施設を準備し、適期収穫に努めます。

大豆

- ・乾燥による出芽率の低下や除草剤の効果不足が懸念されるので、60%以上の高い碎土率を確保し、耕起～播種～除草剤散布は間隔を空けずに行います。
- ・播種時に土壌が乾燥しておりその後も晴天が続くと予想される場合は、播種深度は3cmよりもやや深めに設定します。

露地野菜

- ・乾燥が続く場合は土壌が乾き過ぎないように朝夕の涼しい時間帯に畝間かん水をしします。
- ・キャベツのチップバーン発生が懸念される時は水溶性カルシウム剤を葉面散布します。

花き

- ・旧盆切花は積極的にかん水し、早期開花を防止し草丈の確保を図ります。

果樹

- ・近年、ハダニ類の発生が早まる傾向があり、発生状況を観察し発生初期に防除します。
- ・土壌の乾きを確認し、かん水を実施します。特に幼木は、敷きわらやマルチ等により土壌水分の蒸発を抑制します。

農業施設

- ・日中、異常高温にならないよう遮光や換気を行います。

※本文は、農林水産省「農業技術の基本指針（令和2年改定）」、新潟地方気象台「農業に役立つ気象情報の利用の手引き（北陸地方版）」（令和2年1月）をもとに新川農林振興センターが作成

経営改善の第一歩！！～資金運用表～

経営分析の手法の一つである資金運用表は、2期の貸借対照表があれば、簡単に作成することができます。資金の状況から経営が「好転しているのか」、「悪化しているのか」確認することができます。今回はこの資金運用表の作成と見方について紹介します。

1 資金運用表の作成方法と見方

資金運用表は、本来、勘定科目別で作成しますが、ここでは、流動資産、固定資産、繰延資産及び流動負債、固定負債、純資産（資本、繰越利益剰余金（以下「利益剰余金」に略））の区分により簡略化して見て行きます。

まず、最初に、2期の貸借対照表を準備し、これをもとに、表1のとおり短期資金と長期資金に区分し、前期と当期の残高の増減額を算出します。この時に、固定資産では機械・施設等の残高と当期の新規取得額、固定負債では借入金ごとの明細を記載すると、より詳細な資金運用を見ることができます。

この残高の増減に従って、資金の調達と運用の二つに整理していきます。方法としては、まず「資産の増加」、「負債の減少」、「資本の減少」は資金の運用の欄に、「資産の減少」、「負債の増加」、「資本の増加」は資金の調達の欄に増減額を記入し、仕分けます。

次に、長期資金・短期資金ごとに運用と調達の合計を算出し、その差額を計算します。表1のA法人の場合582万円となり、この差額を長期資金・短期資金の両方の「調達と運用の資金差額」の欄に金額を記入すれば、資金運用表が完成します。

表1 A法人の資金運用表 (万円)

		前期	当期	増減	短期資金		長期資金		
					運用	調達	運用	調達	
短期資金	流動資産	2,988	3,528	540	540				
	流動負債	307	265	▲42	42				
	調達・運用の資金差額					582			
長期資金	固定資産	機械等の残高	1,532	1,213	▲319				319
		機械等新規取得		441	441			441	
		無形・投資等	2	2	0				
	繰延資産	0	0	0					
	固定負債	長期借入金①	510	255	▲255			255	
		長期借入金②	0	278	278				278
		構成員借入金	2,341	2,341	0				
	純資産	資本	583	583	0				
		利益剰余金	781	1,462	681				681
		調達・運用の資金差額						582	
合計					582	582	1,278	1,278	

固定資産は機械等の残高と新規取得額、固定負債等は各借入の明細を作成すると、より詳細な資金運用をみることができます。

短期・長期資金とも運用と調達の各合計は一致します。

- 完成したA法人の資金運用表を見ると、まず長期資金では、当期利益を含む利益剰余金の681万円と長期資金の借入金②の278万円を新たに借入で減価償却費の319万円を加えて計1,278万円の資金を調達しています。この調達した資金は、長期借入金①の255万円を返済し、機械等の新規取得に441万円を運用、残った582万円を短期資金に繰り入れ、流動負債42万円を減少させ、最終的に流動資産540万円を増加させています。

2 資金運用表による経営点検を

このように資金運用表は、1期の決算書を単に見るより、より明確に経営状況を把握することができます。令和2年の決算書もできあがるこの時期、是非この資金運用表を作成し、経営状況を点検してみましょう。

～栄えある受賞おめでとうございます～

(敬称略)

富山県産業経済部門功労表彰

市町村	受賞者名
魚津市	(農)ゆかり営農組合

元気とやま農林水産奨励賞

市町村	受賞者名
入善町	(農)せせらぎ営農組合 松島 正紀

富山県農村文化賞

市町村	受賞者名
入善町	(農)こすりど営農組合

富山県農業振興賞

部門	区分	市町村	受賞者名
米	生産者	朝日町	柳澤 慶幸
	集団	黒部市	(農)前山
	種子集団	黒部市	栗寺集落営農組合
大豆	集団	入善町	(農)はるか
園芸	生産者	魚津市	高木 正文
	複合経営	入善町	(農)あおき営農組合
	指導者等	魚津市	本庄 美輝

とやま地産地消優良活動賞

市町村	受賞者名
黒部市	能登 要・能登 博子

**ディスカバー^{わら}農山漁村の宝選定
(コミュニティ部門)**

市町村	受賞者名
魚津市	小菅沼・ヤギの杜

**鳥獣対策優良活動表彰
農村振興局長賞**

市町村	受賞者名
朝日町	朝日町有害鳥獣対策協議会

北陸農政局男女共同参画優良事例表彰

市町村	受賞者名
入善町	(株)Stay gold てらだファーム 代表取締役 寺田 晴美



今後の益々のご活躍を
心よりお祈り申し上げます。